



# 災害情報いち早く

## 緊急告知 FMラジオ 倉敷で来月配備

福祉施設  
保健などに

倉敷市は6月から、災害発生時に自動的に電源が入り、災害情報や避難指示をいち早く市民に伝える「緊急告知FMラジオ」を市内の保健福祉施設などに配備する。24日に行われた。

ラジオは、04年の台風被害を教訓にコミュニケーションメディアの「エフエムくらしき」と「倉敷ケールテレビ」が共同開発。電源が入っていない

でもFM局の電波を受信し、自動的にスイッチが入り、大音量で放送を開始する。聴覚障害者のためにライトも点灯し、電波状況の悪い地域ではケールテレビを通じて受信できる。

同市は障害者や高齢者もFM局の電波を受信し、自動的にスイッチが入り、大音量で放送を開始する。聴覚障害者のためにライトも点灯し、電波状況の悪い地域ではケールテレビを通じて受信できる。今後、同市では保健福祉施設以外に自主防災組織への配備を予定している。

保健福祉施設や保育園、幼稚園などに配布された緊急告知FMラジオ(倉敷市役所)